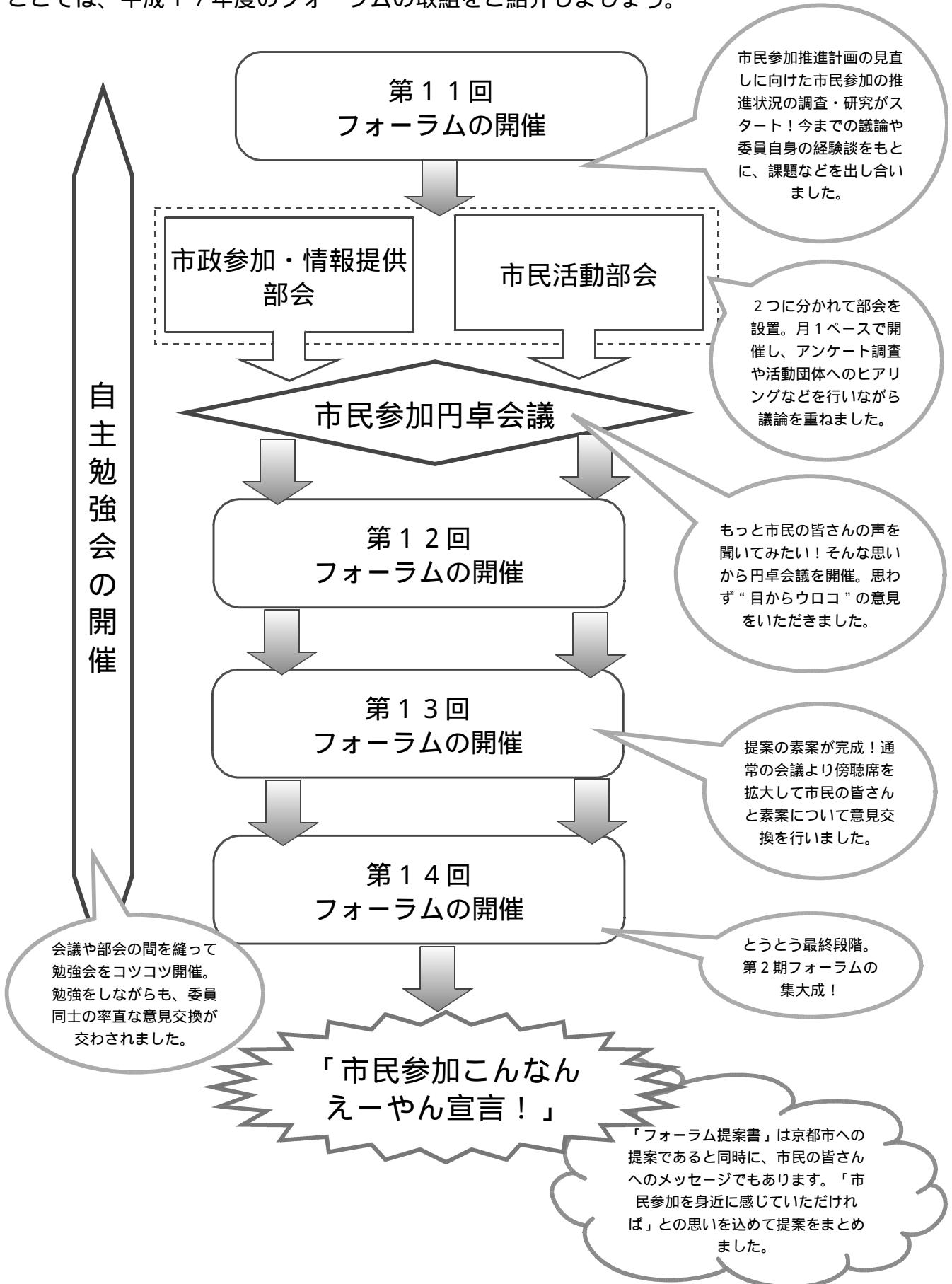


## 2 これまでの取組状況について

ここでは、平成17年度のフォーラムの取組をご紹介しましょう。



## (1) フォーラムの開催

第1期（平成14年8月から16年3月まで）

市民参加推進条例の制定や電子会議室の設置など、制度的基盤づくりを進めていく一環として、他都市の事例研究等を行い、自主的な勉強会や専門部会を開催しました。



第2期（平成16年4月から18年3月まで）

条例の施行や市民活動総合センターの開設など、制度的基盤が整った状況の中で、「より市民に市民参加を実感してもらうにはどうすればよいか」ということをテーマに議論を重ねてきました。



## (2) 部会の開催

平成17年度は、「市政参加・情報提供部会」「市民活動部会」の2つの部会に分かれて、「市民参加推進計画」の進捗状況や55項目のチェック作業を重ねました。



### (3) 円卓会議の開催

平成17年(2005年)8月7日(日) 参加人数 約50人

「市民参加推進計画の実施状況の点検を行う一環として、「より多くの市民の声を反映させた提案をしたい!」というフォーラム委員の熱い思いから、京都市の市民参加の取組や地域のまちづくり活動に関する市民の皆さんの率直な意見をお聞きするため、「市民参加円卓会議」を開催しました。

当時は、京都市の様々な審議会で活躍されている市民公募委員さんや、日ごろから地域やNPOなどでまちづくり活動に携わっている方々にお集まりいただき、2つのグループに分かれて活発な議論が展開されました。

この提案書の中にも、円卓会議から生まれた言葉の数々が掲載されています。



#### グループA

市民公募委員さんに聞きました！あなたの声は届いてますか？

●コーディネーター：宗田 好史 座長  
(京都府立大学人間環境学部助教授)

京都市の様々な審議会でご活躍されている市民公募委員の方にお集まりいただき、実際に市政参加の活動をしての率直な感想や京都市の市民参加の取組についてご意見をお伺いします。傍聴の皆さんにもご意見をお伺いしますので、市政参加について語り合いましょう！

#### グループB

どうすればうまくいく？  
あなたのまちの市民活動！

●コーディネーター：乾 亨 副座長  
(立命館大学産業社会学部教授)

日ごろから地域の自治会などのまちづくり組織に所属して活動を行っている方々と、地域の中で独自に市民活動を行っている方々との意見交換を通して、地域において人と人がつながるためのヒントやきっかけを探ります。皆さんが普段、地域のまちづくりに対し感じている素朴な疑問などを、この場で投げかけてみませんか？

## (4) 自主勉強会の開催

第2期市民公募委員の学習機会の創出とフォーラムでの議論を補完するために、概ね毎月1回、自主勉強会を重ねてきました。「京都市出前トーク」を活用して関係者を講師として招いて学習したり、メンバーそれぞれの活動の報告を受けて、情報を共有してきました。これまでの開催テーマは下記の通りです。

これまでそれぞれの分野で活躍している個々人でしたが、意見交換を通して情報の共有を図り、それぞれの価値観や思いを確かめ合いながら、勉強会を開催してきました。

